

2014年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	生物環境化学科						
科目名	生物環境化学特別講義 I						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	4年次前期		
必修・選択の別	選択科目						
担当者	田中賢二						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身に足りないものを自分で抽出し、それを修得するために自己学習できる。</li> <li>・技術者倫理の知識を有している。</li> <li>・過去5年間の資格試験、理系公務員採用試験のいずれかの過去問を50%以上正解できる。</li> </ul>						
日程と内容	<p>4/7 第1回：導入講義（授業の進め方と概要の説明、成績評価法）。生物環境化学科の専門科目に関連する資格試験と理系公務員採用試験、とくに食品衛生監視員採用試験の合格基準についての知識を得る。どのような科目があるのかを具体的に知り、この講義を受講したあとも継続して自己学習できるように学習計画を立てる。</p> <p>4/14 第2回：理系国家公務員採用試験について</p> <p>4/21 第3回：理系国家公務員採用試験について</p> <p>4/28 第4回：食品衛生監視員採用試験過去問演習①</p> <p>5/12 第5回：食品衛生監視員採用試験過去問演習②</p> <p>5/19 第6回：食品衛生監視員採用試験過去問演習③</p> <p>5/26 第7回：食品衛生監視員採用試験過去問演習④</p> <p>6/2 第8回：食品衛生監視員採用試験過去問演習⑤</p> <p>6/9 第9回：食品衛生監視員採用試験過去問演習⑥</p> <p>6/16 第10回：食品衛生監視員採用試験関連科目演習</p> <p>6/23 第11回：上級バイオ技術者認定試験対策講義①「生物多様性の保全」</p> <p>6/30 第12回：上級バイオ技術者認定試験対策講義②「バイオハザード」</p> <p>7/7 第13回：上級バイオ技術者認定試験 不得意科目対策①</p> <p>7/14 第14回：上級バイオ技術者認定試験 不得意科目対策②</p> <p>7/21 第15回：上級バイオ技術者認定試験 不得意科目対策③</p> <p>7/28 第16回：定期試験</p>						
成績評価基準	定期試験	100%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題						
	演習		計	100%			
授業到達目標の達成度	履修が認められる学年の関係もあって、授業内容を大幅に変更し、バイオ・食品関係の資格・公務員採用試験対策を中心とした。食品衛生監視員（検疫官、保健所職員）の採用試験のレベル、出題範囲、出題形式と傾向については概ね理解できたと思われる。とくに成績上位の学生については、具体的な学習計画の目的を付けることが出来たとと思われる。						
反省点	実際の採用試験・資格試験の過去問を中心とした平素の演習において、履修者の正答率を参考に、理解度の低い問題を明確にした。理解度の低かった項目について重点的に講義、補足説明を行い、定期試験でもそれらの問題を中心に出題した。しかしながら、全体に、この種の試験問題に対する解決能力が低く、平素の授業でもっと多く目に触れさせる必要があると感じている。						
来年度の計画	実際の採用試験・資格試験の過去問を中心とした平素の演習問題において、各問題ごとの正答率を集計し、理解度の低い問題を明確にした。今年度は、この結果を基に、理解度の低かったところを重点的に講義を行った。その結果、受講者全体の理解度をさらに向上することができた。しかし、全体的に計算問題の理解度が低い。						
授業評価アンケートに対するコメント	全体として評価は平均点よりも高く、概ね良好と思われる。教員に対する評価は9.3(10段階評価)、その他の項目も5段階評価で4.0~5.0の範囲にあった。						
履修登録者数	5名	定期試験受験者数	4名	合格者数	4名	合格率	100%